

衆議院安全保障委員会ニュース

平成 20.4.11 第 169 回国会第 5 号

4 月 11 日、第 5 回の委員会が開かれました。

1 防衛省設置法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 36 号）

- ・石破防衛大臣、小野寺外務副大臣、松島国土交通副大臣、江渡防衛副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・赤嶺政賢君（共産）が討論を行いました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成 - 自民、民主、公明、国民、西村真悟君（無） 反対 - 共産、社民）

（質疑者及び主な質疑内容）

長 島 昭 久君（民主）

- ・昨 4 月 10 日の新聞報道で、防衛大臣が 5 月に予定していた訪米を断念したとされているが、事実関係はどうなっているのか。
- ・自衛官の定数は毎年削減されているが、多様化する陸上自衛隊の任務・役割と現状の定員のバランスについて、防衛大臣はどのように考えているのか。
- ・日米同盟における非対称性を踏まえ、国際平和協力活動等において両国間でリスクを分担していく必要性について、防衛大臣はどのように考えているのか。

渡 辺 周君（民主）

- ・国連スーダンミッションへ自衛隊を派遣するよう国連から要請はあったのか。また、同ミッションへの自衛隊派遣に関する政府内の検討状況はどうなっているのか。
- ・防衛省の報償費に係る裏金問題についての調査の進捗状況と調査内容の発表時期はどうなっているのか。また、本問題の解明に向けた防衛大臣の決意を伺いたい。
- ・防衛省職員に対する情報漏洩に係る罰則の軽重について、防衛大臣はどのように認識しているのか。

山 口 壯君（民主）

- ・自衛隊情報保全隊の新編を機に、市民集会についての情報収集などではなく、外部からの自衛隊に対する謀報の働きかけへの対応に専心するよう、意識を変える必要があるのではないのか。
- ・弾道ミサイル防衛システムの実弾訓練には多大な経費を要することを踏まえ、実際の弾道ミサイル攻撃に対応ができるような訓練方法について、防衛大臣はどのように考えているのか。
- ・防衛大臣は、マッサージ師やバーテンダーなどの給与等

についても負担している可能性が高い在日米軍駐留経費日本側負担の現状を妥当なものと考えているのか。また、防衛大臣はその考えを米側に伝えているのか。

赤 嶺 政 賢君（共産）

- ・自衛隊情報保全隊の新編と日米間における情報共有の進展や「秘密軍事情報の保護のための秘密保持の措置に関する日本国政府とアメリカ合衆国政府との間の協定」締結は、関係があるのか。
- ・自衛隊が航空管制を実施する築城進入管制区の拡大により、同管制区内において、民航機よりも自衛隊機や米軍機が優先されるようなことはないのか。
- ・米軍普天間飛行場代替施設建設についての環境影響評価の事前調査の進め方や環境影響評価方法書の妥当性について、防衛大臣はどのように認識しているのか。

辻 元 清 美君（社民）

- ・平成 20 年度に「男女共同参画推進企画室」が新設されるが、このような組織はもっと早く設置すべきではなかったのか。また、今後の同企画室の機能強化の必要性について、防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・自衛隊におけるセクハラ相談に関して、自衛隊外部からの相談員の導入や弁護士の同伴を検討すべきと考えるが、防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・自衛隊における情報漏洩防止のためには、自衛隊内から漏洩しないような体制を整備することが必要であって、一般市民を含む外部についての情報収集を行う必要はないのではないのか、防衛大臣の見解を伺いたい。

下 地 幹 郎君（国民）

- ・我が国の少子高齢化を踏まえた自衛隊の人的基盤確保に

ついでに防衛大臣の見解を伺いたい。

- ・ 在沖米軍兵士による女子中学生暴行事件に係る再発防止策具体化のための検討状況について、関係地方公共団体首長に対する説明を定期的に行う必要があるのではないのか。

- ・ 現在の沖縄振興策は一部の企業の利益となるのみで県民全体の利益とはなっていない状況にあると認識しているが、関係省庁はこの状況を改善するため指導を行うべきではないのか。